



# Fujimi\_3\_Haizara-Cho(Rinzo\_Shimizu)

2019-10-31

昨日の東の雲

2冊目を発送したというメールが[[製本直送コム]]から来た。

だいたい1週で送られてくるということだろう。

1冊目は、表紙の写真を試したり、QRコードを奥付付近に2つ付けたりしてできあがりにする予定。

昨日の東の雲。



## Navigation

[Previous 月](#)

[Next 月](#)

[Today](#)

[Archives](#)

[Admin Area](#)

## Categories

[All](#)

[General](#)

[新しいカテゴリ1](#)

[新しいカテゴリ2](#)

[新しいカテゴリ3](#)

灰皿町の本

- [幻想小説『なめくじキーホルダー』 清水鱗造](#)

- [「週刊読書人」詩時評一九九二-一九九三年 清水鱗造批評集 第一分冊](#)

## Search

検索キーワード

20:51:58 - belle - No comments

2019-10-30

表紙の画像

129年ぶりの[[2012年5月21日の金環日食]]の写真が撮れているので、これを批評集分冊と合本書籍の表紙に使いたいと思っていた。

当時のデジタル一眼レフNikon 40DXは今でもよく使っているが、A4の紙にベタでプリントすると縦の長さが50ピクセルほど足りなくなる。300dpiでプリントする設定だと。

とはいものの下のように表紙にそのまま印刷すると、背の部分が金環日食の部分になる。

どういうふうに配すればいいか、考え中。あるいはトビラに入れるか別葉にするか。ほかの本にするか。

その後、D5200を買ってこのカメラの解像度だと十二分だと思う。

印刷するとなるとカメラの画素数が多いほうがいいのがわかる。



23:38:39 - belle - No comments

**2019-10-29**

### 縁取り文字を試す

The Gimpのtategumiフィルターで、縁取り文字を試した。

背景のノイズもいろいろなものがノイズフィルタで作成することができる。

縁取り文字は「基本」のタブはパーセントで調整する。

これで表紙にベタな写真を使って縁取り文字を載せたり、小見出しを装飾したりできそう。

### Login

ログインID:

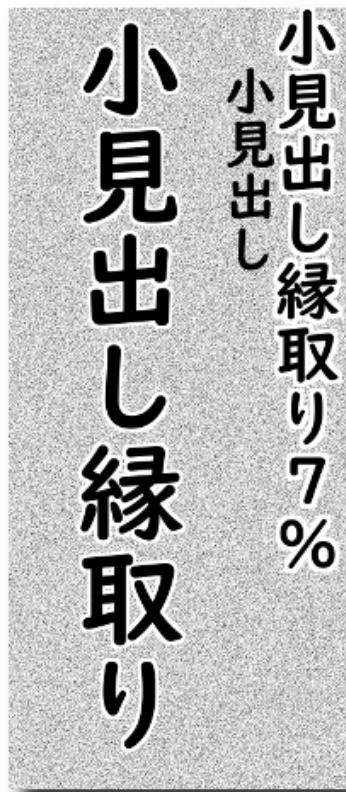
パスワード:

このPCを他の  
の人と共有する

**ログイン**

Powered by





23:25:22 - belle - No comments

**2019-10-28**

昨日の秋の雲

21日に[[製本直送コム]]に3冊発注した冊子ができあがったので発送したというメールがきた。

5営業日なので、予定どおりの感じ。

特急とかオプションがあるが、それほど急ぐ理由もない。

今日はThe Gimpで、小見出しの背景を灰色にするにはどうしたらいいかなどと考えていた。

まだ実験していない。

InDesignはやはり本を作る機会に学習するのがいちばんだが、小技を目的に応じて使えるようになれば本全体の組がまとまるだろう。

写真は昨日の朝の雲。



22:35:13 - belle - No comments

**2019-10-27**

### InDesignで、2冊目ができた

[[InDesign]]の使い方は、2冊目で1冊目のやり方を確認したり深めたりできて慣れてきた。

今日わかった手順を数項目書いておく。

- ルビをふるときにはショートカット「Ctrl+Alt+r」を使う。選択した文字にから即座にふることができる。
- 改行の後の行頭の「はデフォルトでは上に詰まっているが、半角分下げたい。これは正規表現 \r「を \r「 に全置換することで一気にできる。正規表現でなくテキストであれば、^pらしい。
- インデントは書式の段落で設定できるが、インデントを学習すると2行目から1字下げという「問答形式」を設定できるかもしれない。これは詩作品を組むときに必要で、これはできないのではと思っていた。まだよく調べていないが。

表紙はPhotoshopの代わりにThe Gimpとフィルタの「tategumi」を使っているが、The Gimpの新規ガイド線を引くときに数値入力できないときの解消方法が  
[【GIMP2.8】ダイアログに数値入力できない対策【バグ】](#)に出ている。

1クリック無駄になるが、これで数値入力できれば面倒でなくなる。

今回は112ページで束（つか）の長さは60ページ増えて45ピクセル増加。

また表紙の画像サイズについては備忘のために数字を別の記事で書いておくつもり。

今日、秋葉原にちょっと行って、blu-rayディスクを買ってきました。



20:49:57 - belle - No comments

2019-10-26

週末の夜景

今日は夕食後、InDesignでテキストを流し込んで作っている本を仕上げて、表紙も取り掛かろうと思っていた。  
ところが2時間ぐらい眠ってしまったので、明日仕上げ。  
土曜の夜景。



23:54:00 - belle - No comments

**2019-10-25**

「どこでも出版」、もう少ししたら開設してみたい  
今日は1冊、InDesignで本を組んだ。  
ほぼ完全原稿なので楽にできた。  
何冊も連続して作ってみれば、やり方が身に付いていくだろう。  
あとは表紙と奥付。この本はプリントして製本しておくだけなので、3部ぐらい作る。  
表紙は少し絵柄を入れてみようと思う。  
批評集の分冊のほうは[[製本直送com どこでも出版]]を利用して、一昨日書いた価格設定ぐらいでオンラインで注文できるようにしてみたい。決済はPayPal、コンビニ払い、楽天Payで、コンビニ払いは160円加算されるらしい。  
注文を受けると、下のように記録されるようだ。  
すでに今のを売れるようではあるが、表紙などまた修正して出すことにする。

一冊から製本して発送できるオンデマンド印刷。高品質で格安。PDFで入稿/最短翌日発送。

# 製本直送.com

入稿ガイド | どこでも出版ガイド | 製本APIガイド | 料金シミュレーション

## 製本直送マイページ

**【お知らせ】**コンビニ決済/カード決済を利用し「ご注文情報のメール」が届かないお客様は[こちらをクリック](#)して下さい。

<a href="#">製本お申込み</a>	<a href="#">原稿・表紙管理</a>
▶ 新しい原稿を登録して注文	▶ 原稿管理
▶ 登録済み原稿から注文	▶ 表紙作成
▶ 複数原稿の同時注文	▶ 表紙管理
▶ 注文履歴から再注文	

<a href="#">どこでも出版 (オンデマンド販売)</a>	<a href="#">API (上級者向け)</a>
▶ 販売管理/新規登録	▶ 注文一覧
▶ 受注一覧	▶ 請求一覧
▶ メール設定	▶ メール設定
▶ 振込先設定	▶ API登録情報
	▶ 製本APIとは？

<a href="#">会員情報</a>	<a href="#">その他</a>
▶ 注文履歴/領収書	▶ 入稿ガイド
▶ 会員情報	▶ FAQ/お問い合わせ/作業依頼
▶ 郵送先登録/削除	▶ 料金シミュレーター
▶ 退会申請	▶ 用紙サンプルのご依頼
	▶ オフセット/特殊印刷のご依頼
	▶ 製本・出版相談会 in 大阪

販売管理 | 受注一覧 | メール設定

受注一覧 | 売上明細 | お支払い履歴

### 受注一覧

『どこでも出版』経由で入ったご注文の一覧です。 **買った方はわからない。**

期間	<input checked="" type="radio"/> 今月 <input type="radio"/> 先月 <input type="radio"/> 今年 <input type="radio"/> 昨年 <input type="radio"/> 期間指定 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 ~ <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日	<input type="button" value="検索"/>	<input type="button" value="CSV出力"/>
----	--	-----------------------------------	--------------------------------------

0件のご注文がございました。

※発送先はデフォルトで非公開

注文ID	売上日	ファイル名	発送先名	発送先住所	Eメールアドレス
------	-----	-------	------	-------	----------

**2019-10-24**

### 夕顔の花

昨日計算したオンデマンド本の価格はよく考えると、なんとなく納得の感じになった。

1冊の注文があったら、1冊製本して送るという手間があるのでそこを想像すると価格はそれくらいするのかなと思う。

引き続き作っている本の柱を作ったりしようと思っていたが、うっかり夕食後眠ってしまった。

写真は夕方に撮った夕顔の花。



23:07:32 - belle - No comments

**2019-10-23**

### 批評集、価格を設定してみる

製本直送comのどこでも出版(オンデマンド販売サービス)を使えば、通販ができるので、ちょっと計算してみた。

(製作費) 500円+ (どこでも出版利用料) 109円  
+ (僕に投げ銭) 120円+ (送料 : 購入本総ページ数400ページまで。つまり複数冊あればページ数で計算されるようだ) 411円  
=1,140円になる。

売るには、バナーをSNSや自分の使えるサイトに販売のURLを貼り付ければいいらしい。

とりあえず、自分ではあと3冊作って、担当編集者さんに贈って手元に2冊おいておくつもり。

青空文庫やサイトで公開しているので、奇特な人はそんなにいないと思うが匿名で買える手段を設定してテストしてもいいかなと思う。ちなみに、投げ銭が1000円以上にならないと振り込まれないようなので、まずはすぐに投げ銭は届かないとは思う。

下は、「どこでも出版」での計算テスト。間違えていないとは思うが。

オンデマンド出版は在庫ゼロで本棚を圧迫しないところがいいと思う。



21:32:15 - belle - 2 comments

**2019-10-22**

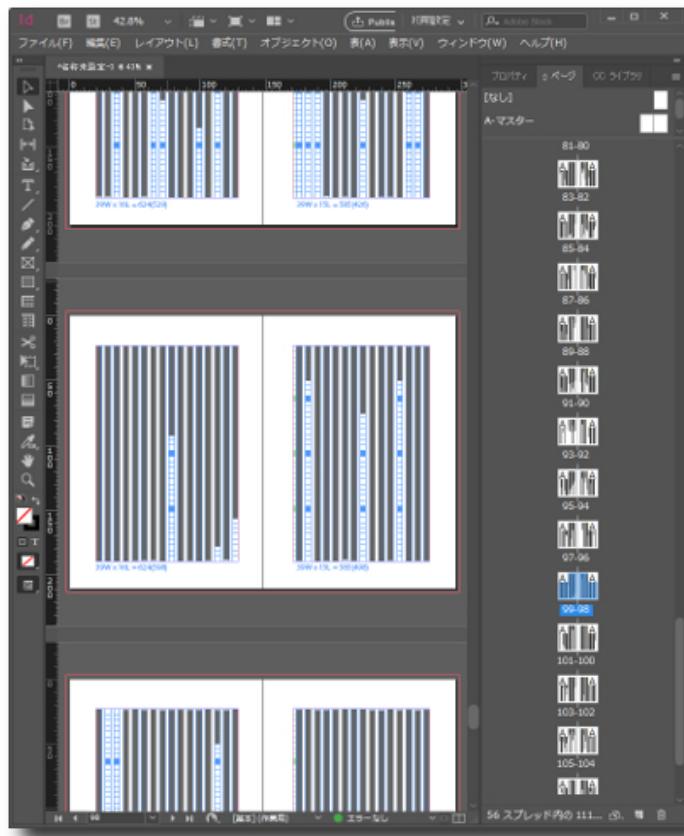
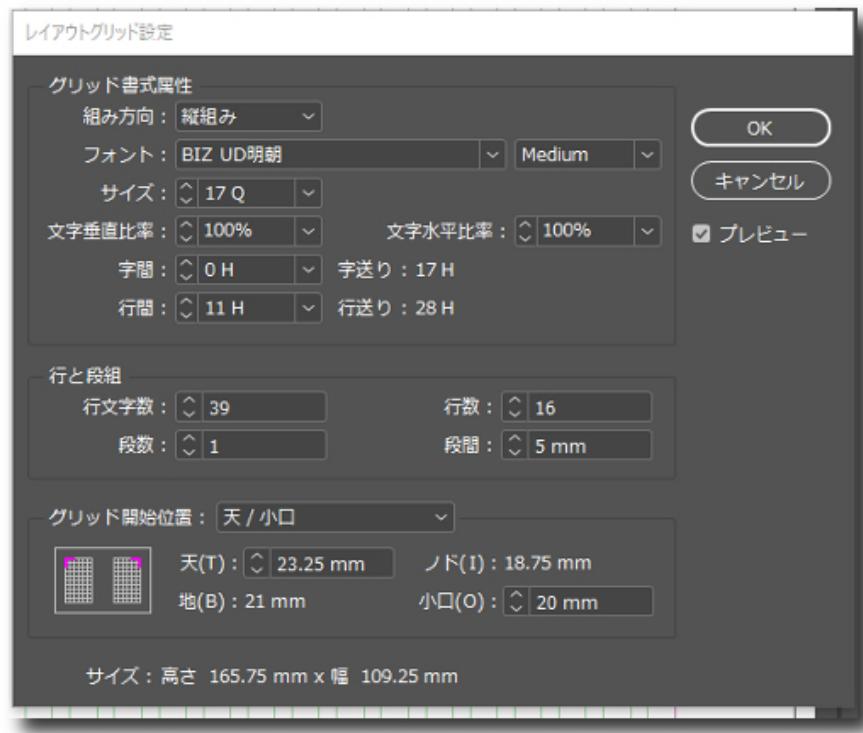
### InDesign、もう1冊作りはじめた

今度は散文でテキストファイルを[[InDesign]]ファイルに流し込んだ。

特に批評集のレイアウトは同じでないとおかしいので、設定を見ておかなければいけない。

「詩時評」での初期設定をスクリーンショットしておいた。

マスターページはほかのInDesign文書から取り込める、つまり詩時評のマスターページを取り込めるようだが、今日はまだそこまで進んでいない。

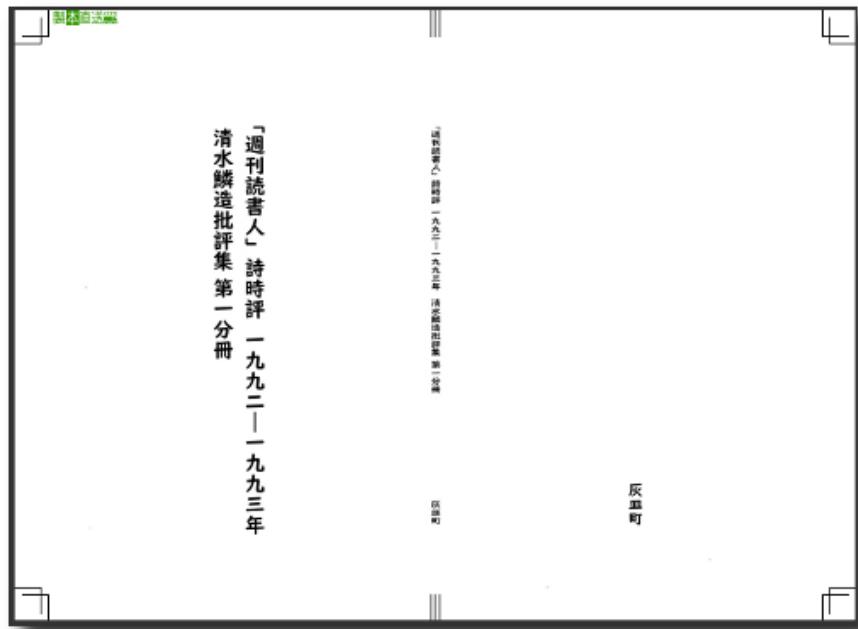


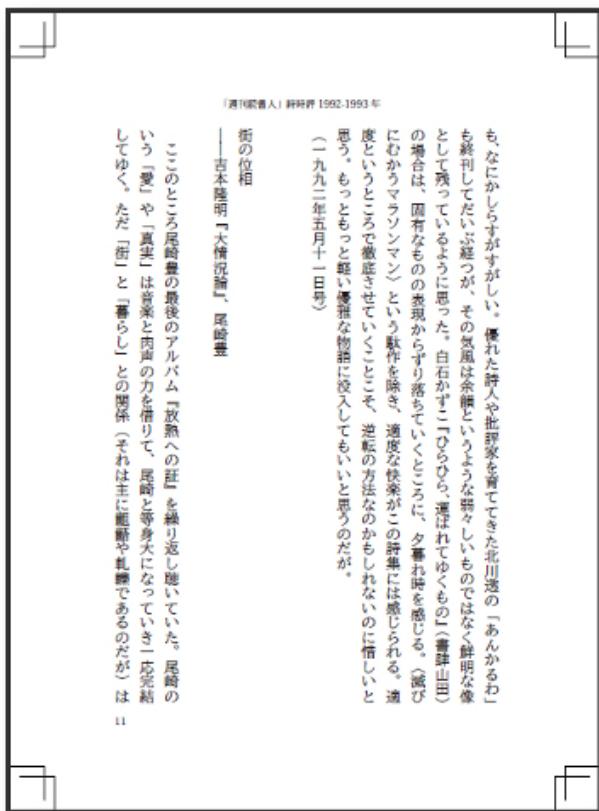
21:32:24 - belle - No comments

**2019-10-21**

### 批評集第1分冊を3冊、再注文した

[[製本直送コム]]に、修正した表紙・本文を入稿して3部注文しておいた。この3部は「時評」というのを「詩時評」にしたのと、それに伴う「柱」の変更。InDesignでは途中で柱を替えると、それ以後のページに反映されるようだ。つまり、章ごとに柱の文字を変えるなら、後ろのほうに次々に変えていければいい。トビラ・奥付などで文字列やノンブルを削除したページには適用されないように、うまくできている。下は表紙と本文のオンラインで先方がトンボをつけたものをダウンロードしたもの。製本直送コムの手順も、複雑だが何回もやっているうちに慣れてくる感じ。ちなみに表紙・背表紙・裏表紙の文字のフォントは「UDデジタル教科書体N-B」でサイズは表紙文字が100ピクセル、背は40ピクセル。





21:43:24 - belle - No comments

2019-10-20

### 料理のフィギュア

今日はInDesignを使って本を1冊組もうと思っていたが、眠くなってしまった。  
細かく分かれている批評集を組むと、自動で目次を作ると、索引を作る練習ができるそうに思えてきた。

分冊を作る過程でやってみようと思う。

HaizaraWikiのほうでも手順を備忘録として書いておいたほうがいいとも思う。

渋谷に行ったので一瞬本屋さんに寄る途中で撮った料理のフィギュア。

かつぱ橋で料理の模型の店も見たが、昔からよくできているものだ。



22:57:37 - belle - No comments

**2019-10-19**

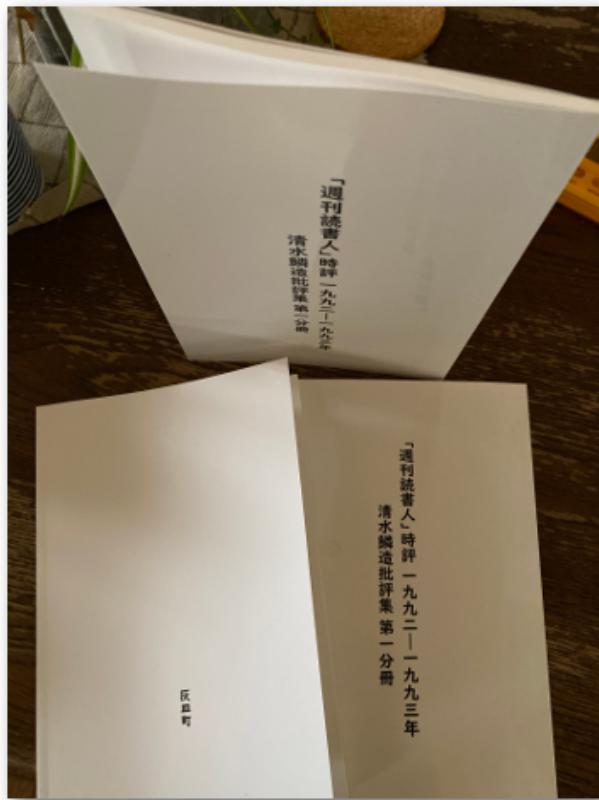
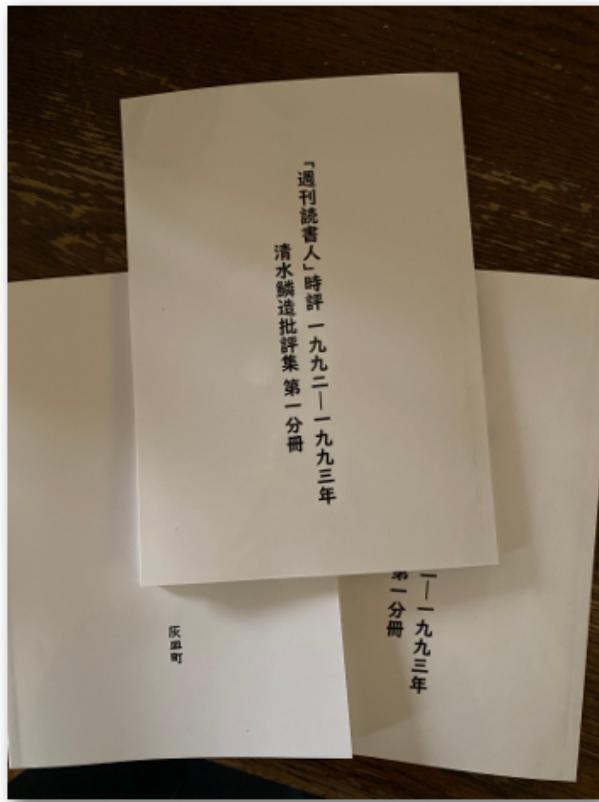
製本直送コムから、批評集第1分冊ができてきた

[[製本直送コム]]から、『「週刊読書人」時評一九九二—一九九三年 清水鱗造批評集 第一分冊』のテスト版が3冊届いた。

いい感じにできている！ でも、これはテスト版でタイトルも「時評」ではなく「詩時評」にするつもり。

3冊で1716円、1冊分572円という製作費になる（全52ページ、表紙ツルツルのやつ、税・送料込み）。

表紙も日食の写真をあしらおうかと思ったが、このまま白でいって合本のときに写真を試すのでもいいかもしない。



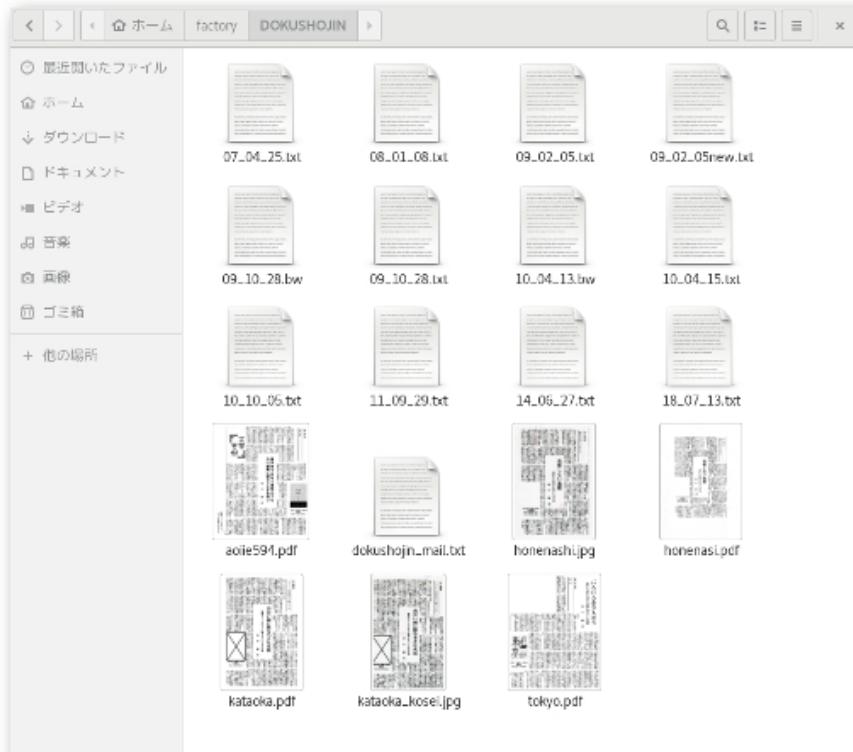
14:57:07 - belle - No comments

**2019-10-18**

このパソコンに残っている「週刊読書人」寄稿のテキストファイル  
とりあえず、ゆっくりテキスト化する計画を立てる。  
「週刊読書人」時評 のタイトルは「週刊読書人」詩時評のほうがいいようだ。  
下のうち太字のものをまず進めることにした。

- 第1分冊 「週刊読書人」詩時評 [編集・組版済] 11月分冊製本予定  
第2分冊 「現代詩手帖」時評 12月分冊製本予定  
第3分冊 「現代詩手帖」批評  
第4分冊 「週刊読書人」書評  
第5分冊 現代詩関係の隨筆  
第6分冊 まとまとした詩人論  
第7分冊 総合的な詩論

パソコンに入っていた「週刊読書人」書評テキストとPDFゲラのサムネイル。  
まだたくさん、かき集める必要がある。



21:21:49 - belle - No comments

**2019-10-17****iCopyCamというOCRを使う**

iPhoneで使える無料OCRを検索してみたら、[[iCopyCam]]というのが出てきた。  
さっそくインストールして使ってみると、まあまあイケる感じ。  
何回か校正する必要があるが、文章を普通に打っていくのよりだいぶ時間短縮になるだろう。  
古い文庫本の電子化に使っていたAdobe AcrobatのOCR機能？より、iPhoneのこのアプリのが今のところ好印象。  
OCRも発展途上にあるのだろう。  
画像はiPhone上でOCRを使ってみたところ。



21:57:31 - belle - No comments

**2019-10-16**

### 拡大コピー

テキストをパソコンに取り込むので、文字を認識しやすいように拡大コピーした。A5の紙に貼り付けてA4に拡大する。

3段組で400字詰め原稿用紙15枚分ぐらいなので、文字が小さい。

3段組のままではうまく認識しないような気もするので切り貼りするが、3段組のまま実験はしてもいいかもしね。



ちょっと秋葉原に寄った。写真は[[オヤイデ電気]]の店頭。  
2~4芯のケーブルを買うときなどに数回寄った。  
ケーブルを切り売りで買うときに切ってくれる様子がなにか楽しい。



22:35:04 - belle - No comments

**2019-10-15**

### 古いテキスト探し

2004年ごろからのテキストは、いきなりテキストエディタで書いているので雑然とはしているが残っている。

テキスト揃えの作業をやりはじめた。

紙に印刷したものはおおむねありそうだが、ないものはOCRのようなものでテキスト化しなければならない。

下のMOディスクには少しテキストが入っていた！

久しぶりにMOドライブを動かした。20年以上ぶり？



22:04:09 - belle - 2 comments

**2019-10-14**

### QRコードのデータ量

QRコードは日本語で400字詰め原稿用紙4枚ぐらい入れられるようだ。

超短編の小説なら入る容量。

試しに、企図している批評集のメッセージを入れてみた。

そのうちぎりぎりまで入れてみる実験をしてみよう。



[[製本直送コム]]に表紙版下を作るときに、PhotoShopがないのでThe Gimpにplug-inを入れて縦組みに対処した。

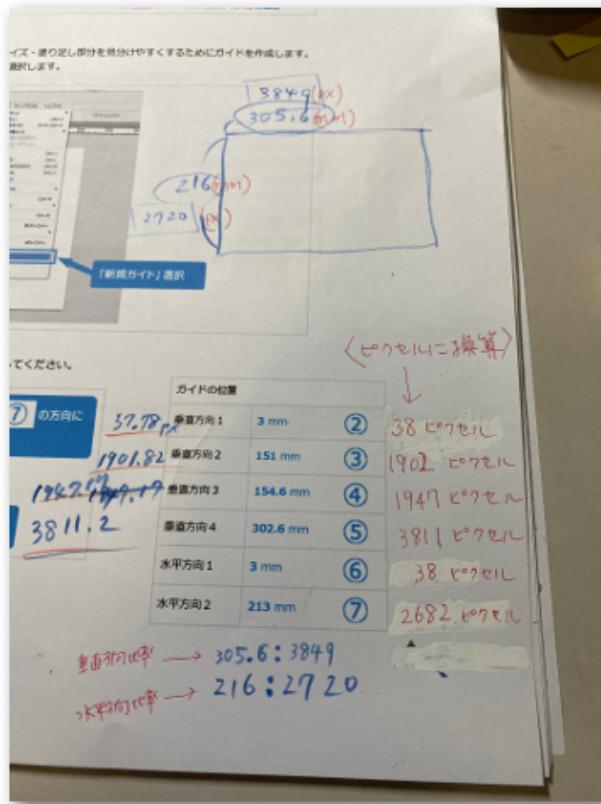
この[[The Gimp plug-in tategaki]]は優れものようだ。文字の白縁取りなどできるらしい。

正式にplug-inに入るといいのだが。

表紙版下はjpegかPDFファイルで入稿する。その際のA5判52ページの束（つか）での全体のサイズは305.6\*216mmとのこと。裁ち落とし部分3mmをとっている。

その際のガイドラインのピクセルに直す計算をした。というのもThe Gimpのガイドはmmではなくピクセルでしかできないようなので。

写真のようになっているので、これはいちおうメモしておく。厚さによって変わってしまうが。



20:22:18 - belle - No comments

**2019-10-13**

### 台風通過／批評集分冊1のプリント注文

朝、起きてカーテンを開けるとすごい日が射し込んできた。

写真は午後撮ったもの。

批評集の第一分冊はオンラインでプリントを注文しておいた。

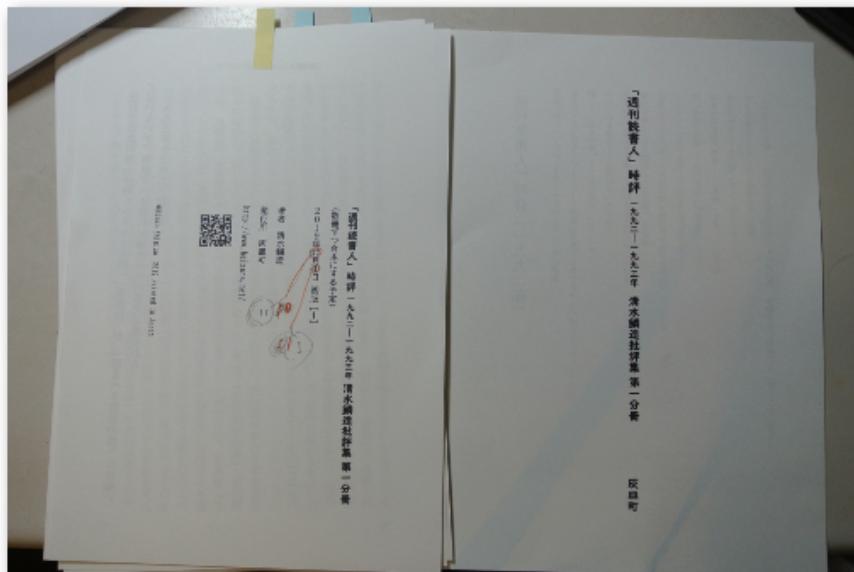
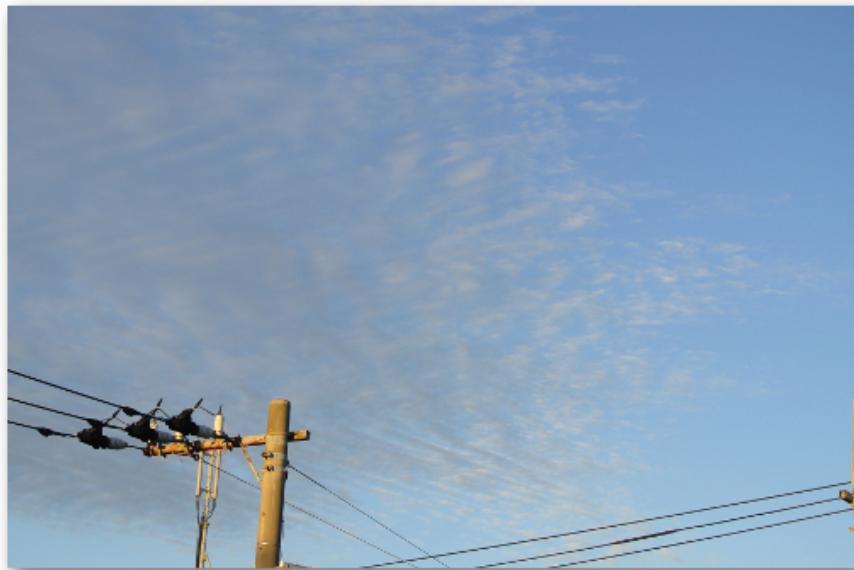
3冊注文で、表紙はモノクロにした。

せっかく絵柄を入れられると思って、金環食の写真を入れようと思ったがまだSDカードに入っているようだ。

2012年5月21日に撮った写真。これを批評集にはあしらおうかと思っている。

トビラ、奥付も仮のを作った。

3冊で送料込みで、1,716円。3~8営業日で送ってくるという。



20:30:36 - belle - No comments

**2019-10-12**

### 台風がきている

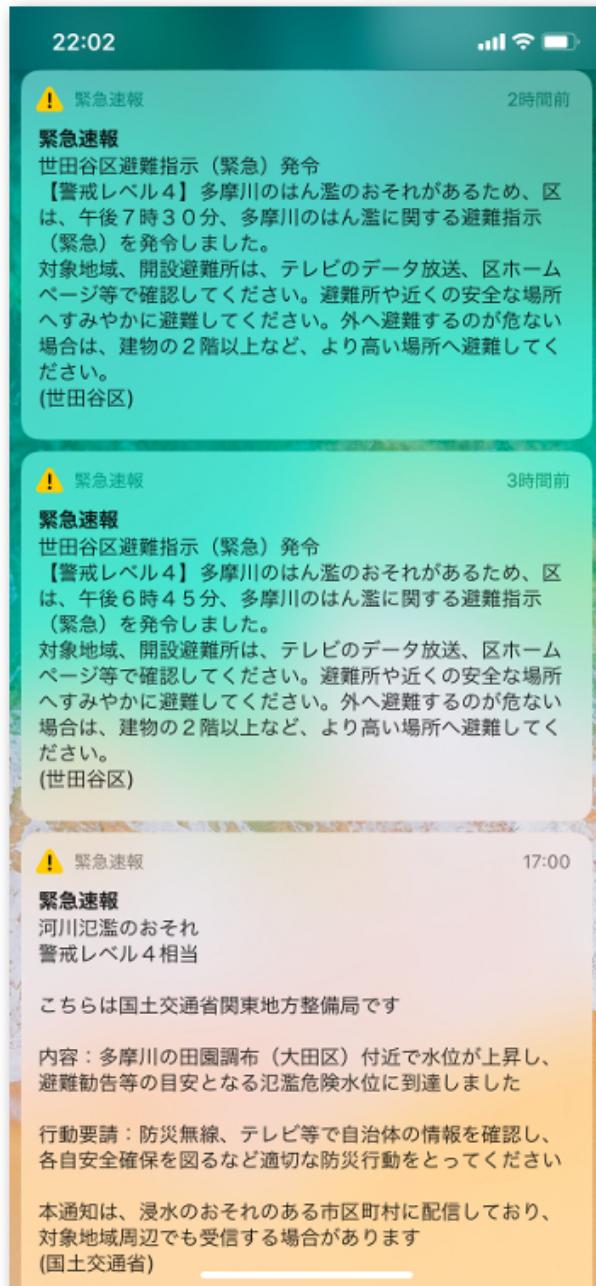
今日は雨戸を閉め切って、籠もっていた。

午後からスマホに何度も緊急速報がきている。

今、22時40分ごろ、ベランダを見るとなんとか何も飛ばずに終わりそうだ。

夕食はなぜかすき焼きだった。家人に言わせると、外付けガスボンベを使うのでもし停電になると対処しやすいとのこと。

下はスマホのスクリーンショット。



InDesignで加工している文書の進捗としては、校正を終えてフォント選びを少し試した。  
本文はデフォルトでは「小塚明朝Pr6N」になっているが「BIZ UD明朝」に替えるかもしれない。

22:43:27 - belle - 2 comments

**2019-10-11**

「週刊読書人」にいっぱい書いていた！

時評をまとめようと思って、「[[週刊読書人]]」を少し整理したらたくさん書いた号が出てきた！

おもに小説の書評で、スクラップしていなかった。これは批評の1ブロックとしての量がありそう。

このなかから文庫本の解説になったり、翻訳されて海外への本の紹介などに使われたものがある。

- 第1分冊 「週刊読書人」時評
- 第2分冊 「現代詩手帖」時評
- 第3分冊 「現代詩手帖」批評
- 第4分冊 「週刊読書人」書評
- 第5分冊 現代詩関係の隨筆
- 第6分冊 まとまった詩人論
- 第7分冊 総合的な詩論

ぐらいに分けてPDFにしてプリントしてしまいたい。

じつはそのほかに単行本3冊ぐらいの秘密の原稿(^\_^)がある。

最終的には合本にしていくという企み。

写真は書評を書いた「週刊読書人」。まだ探せばありそうだ。



21:46:29 - belle - No comments

**2019-10-10**

照合するとけっこう訂正がある

「週刊読書人」の[[著者校正]]はファックスが長い間使われていたが、後にメールのPDFファイル添付になった。

ここで引用などのチェックを行ってきたので、掲載されていたものにはほぼ間違いがないはずである。

今回テキストをHTMLにして公表したものを基にまたプレーンテキストにして、InDesignで処理して校正刷りを出した。

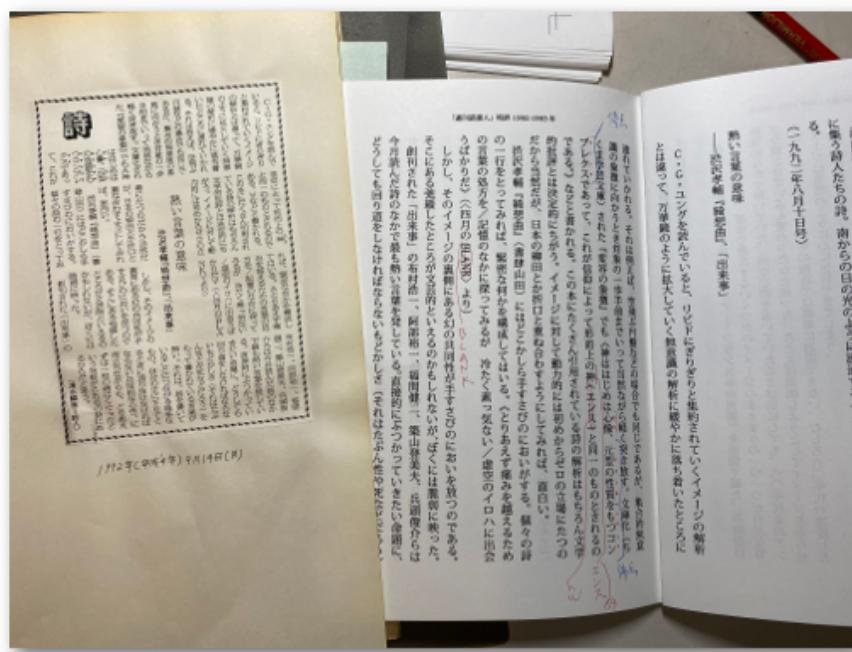
ちょっと掲載されたものと照合すると、けっこう訂正箇所が出てきた。

それは、HTMLで表現できにくい傍点などもあるが、テキストを整備するときの間違いもあった。

本文が多少気恥ずかしいところがあるのは別にして、照合する意味は大きなもののようだ。

引用した本も散逸していく。

写真は照合しているところ。



21:00:02 - belle - No comments

**2019-10-09**

### 立派な校正刷りができた

InDesignのテキスト流し込みで昨日は引っかかったが、対処の仕方がわかって校正刷りができた。

A5の硬い紙を使ったのでなんだか立派な感じ。

[[製本直送com]]では、1部からプリントしてもらうことができるので、3部プリントする予定。

2年間で毎月3.5枚の連載で、54ページになった。

これは分冊で、最終的に300ページぐらいになりそうだ。

分冊をまとめて1冊にできたとき、批評集の一冊ができる感じ。

製本直送comには外部に通販で発売するシステムがあるようだが、自分で注文する

テストをする予定。

一冊あたりの製本金額： 664 円（税込）

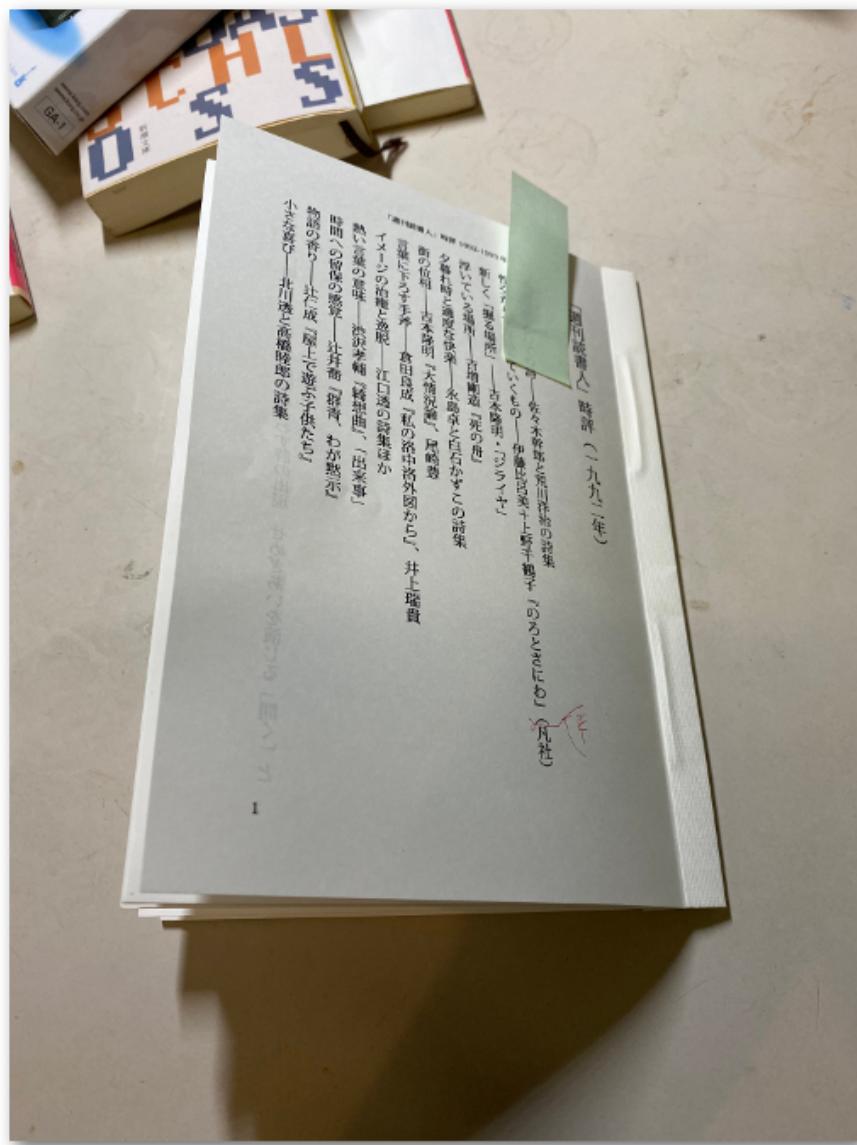
注文部数： 3 冊

送料： 216 円（税込）

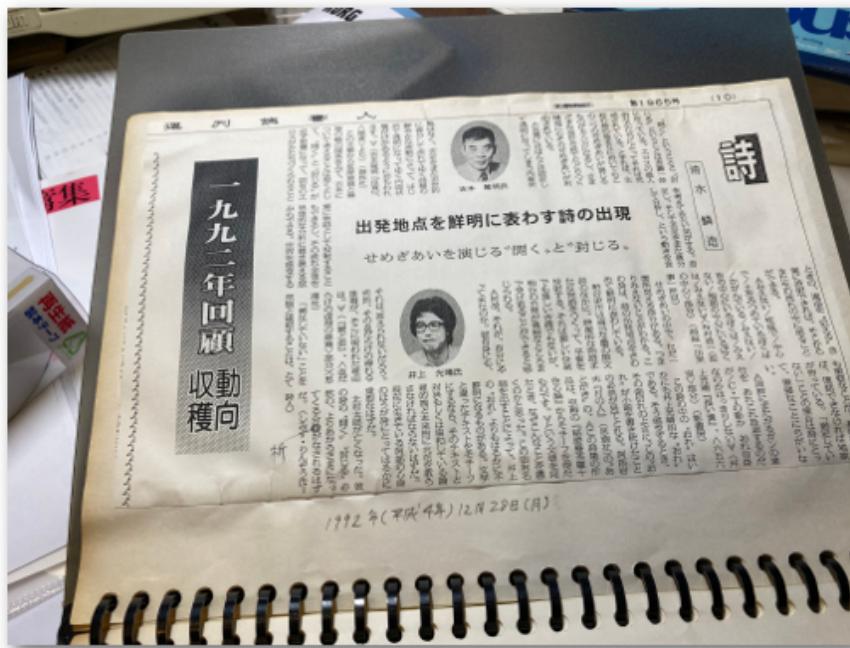
トータル費用： 2,208 円（税込）

表紙はカラーにしてあるが、モノクロにするかもしれない。分冊なのでそのことは明記する。

上記でウチに届くまでに1冊736円なので、他者に売る場合、製本直送comから送られるとしてコンビニ払いて実費880円なのかもしれない。自分で買うテストをするつもり。買う人はいないだろうが(^^)。



まめにスクラップしてある。ここ数年怠けているが。



20:58:41 - belle - No comments

**2019-10-08**

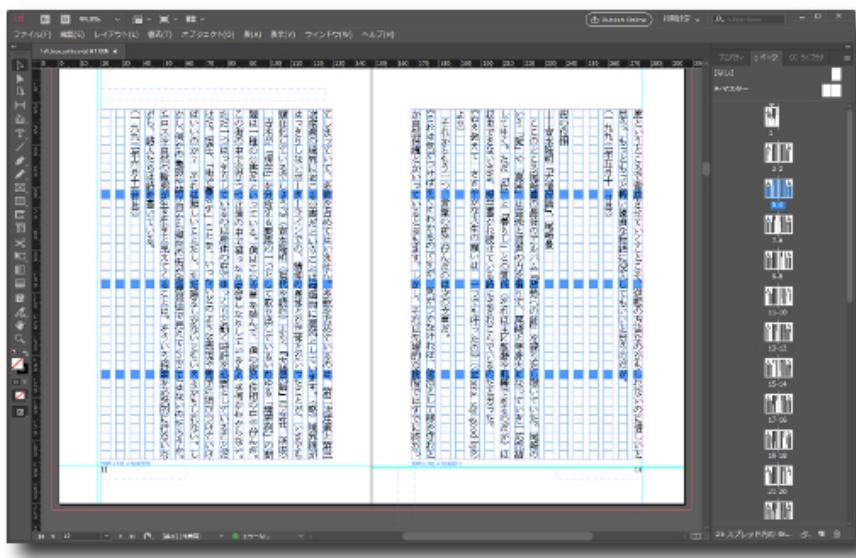
### InDesign、さっそくバグ

InDesignで「ファイル→配置」からテキストを流し込むとうまくいかないので、いろいろとインターネットで調べると、次のページに辿り着いた。

#### 配置からテキストを流し込んだ際のフレームグリッド設定に関して。

なぜか「レイアウト→レイアウトグリッド設定」を見る、「オブジェクト→フレームグリッド設定」を見る、というただ「見る」という操作を行わないとダメみたい。

下はうまく流し始めた画像。



23:33:13 - belle - No comments

**2019-10-07**

### 製本直送コムで計算してみた

InDesignでの組み方がわかつてきないので、オンデマンド印刷の[[製本直送コム]]のweb上で見積もりを出してみた。

とりあえず自分だけなので、3部として計算。  
見積もりの内容と結果は次のようなものである。

(PDFで入稿)

紙サイズ : A5

表紙 : カラー (ラミネート加工)

綴じ方 : 無線綴じ

ページ数 : 250ページ

注文部数 : 3部

製本料金 : 1部あたり1,226円

3部 :  $1,226 \times 3 = 3,678$ 円

送料 : 823円

トータル費用 : 4,501円 (税込み)

部数が増えると1部あたりの費用は次第に安くなってきて、50部以上だと1割引になる。

料金表 / 製本直送.com | 1冊から注文OK。安さと良品質のオンデマンド印刷 - Mozilla Firefox

料金表 / 製本直送.com | +  
 www.seichoku.com/user\_data/moneyPlan.php  
 一冊から製本して発送できるオンライン印刷。高品質で格安。RFID入稿/複数翌日発送。  
**製本直送.com**  
 入稿ガイド | どこでも出版ガイド | 製本料金ガイド | 料金シミュレーター | 用紙サンプル依頼 | FAQ/お問合せ | ログイン  
**製本料金シミュレーター**  
 ご希望のサイズ・種類を選択し、ページ数を記入して「算出」ボタンをクリックしてください。  
 表紙部以上でしたらオフセット印刷も可能です。  
 更にお安くできますのでお気軽にお見積りをご依頼下さい。

紙サイズ	<input checked="" type="radio"/> 規定サイズ A5 <small>A4,A3,新書版サイズは四回堂です。</small>
表紙	<input type="radio"/> 任意サイズ 横幅: 210mm (A4の横幅) 高さ: mm <small>横長の製本について【開閉】</small>
本文カラー	<input type="radio"/> モノクロ <small>※グレースケールはモノクロに含まれます。</small>
本文用紙	<input type="radio"/> b7/ハリキー (主な用途:雑誌・書籍・冊子) <small>用紙の特徴を見る【開閉】 用紙のサンプルを希望する</small>
綴じ方	<input type="radio"/> 無綴綴じ <small>無綴綴じ写真   中綴じ(ホッチキス止)写真</small>
本文ページ数	250
印刷面積率	<input type="checkbox"/> 印刷面積率が50%以上の場合はチェック (主に写真集/イラスト集を販売される方) <small>印刷面積率とは?【開閉】</small>
遊び紙(オプション)	<input type="checkbox"/> 遊び紙あり(※追加) 遊び紙とは?【開閉】 遊び紙写真
お急ぎオプション	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> 特急便 (翌営業日に発送+ビジネスレター便、または宅急便で送付) <input type="radio"/> 急行便 (3営業日以内に発送+ビジネスレター便、または宅急便で送付) <input type="radio"/> 速達便 (普通便より優先的に製本します。ビジネスレター便、または宅急便で送付)
注文部数	3
計算	<b>算出</b>

**製本料金**

一冊あたりの製本料金: **1,226 円(税込)**  
 \* 注文部数: **3 冊**  
 + 送料: **823 円(税込)**  
**トータル費用: 4,501 円(税込)**

ご注文は1冊単位で可能です! 少ない部数でも割増料金等はございません。

**部数割引いたします!**

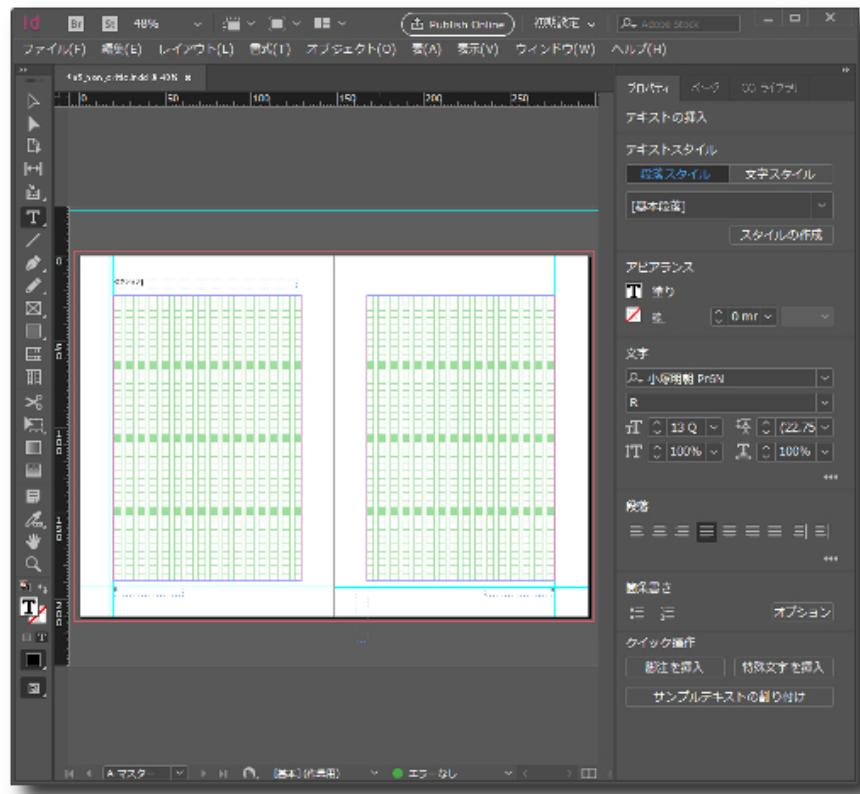
1冊の注文部数 製本費用  
**20~49冊 > 5%OFF**  
**50冊以上 > 10%OFF**

[部数割引の詳細はこちら](#)

23:14:20 - belle - No comments

**2019-10-06****InDesignは仕切り直し**

InDesignで「新規作成→ドキュメント」のマスターページを新たに作って、書式を設定した。  
 A5で文字は16級にした。  
 明日、文書を流し込んでみる。  
 まだ柱の書式を設定していないが、同じことをやっているうちに覚えてくる。



23:23:51 - belle - No comments

**2019-10-05**

### 紙縫り（こより）

写真のそうめんのようなのは、実際に40年ぐらい前に買った[[紙縫り]]である。  
 厚いものを綴じるときにはホチキスがきかないこともある。  
 束で買っても紙を綴じる機会は、毎年そういうものでもない。  
 これは一生に1束買えばいいものだと思う。  
 いまアマゾンで見たら、ちゃんと売っていた。  
 手前のは2本使って、製本の紙も買って貼ったもの。  
 今年は10本ぐらいは使っただろうか。  
 とはいうもののアマゾンで売っているとなると買いたくなるのが不思議。色付きもあるのだろうか。



23:27:28 - belle - No comments

**2019-10-04**

カポタストを付けてみる

今日は8時過ぎに帰ってきた。

ギターにカポタストを付けてみた。ところがなにか勘違いしているせいか、YouTubeの歌に音が合わない。

今夜は時間がないので演奏は明日やってみることにした。

InDesignではどうも14級では字が小さいように感じる。13級がほぼ9ポイントだが、16級ぐらいのサイズのほうがいいのかもしれない。

あとはノンブルをゴシック系にしたが、ちょっと合わない感じ。これは簡単に直せるが、本文の字を大きくするのはレイアウトのやり直しなので、初めからやらなくてはならない。練習になるのでちょうどいいが。

写真はカポタストを付けたギター。



23:22:57 - belle - No comments

**2019-10-03**

**InDesign、いい感じ！**

昨日、『[[I can't stop loving you]]』のコード進行をYouTubeで演奏している人の字幕から写していたら、[[カポタスト]]を使っていた。よくわからないがキー音を違えるために、フレットを押さえる器具カポタストを使う。

アマゾンで夜注文したら、珍しく翌日届かなかった。

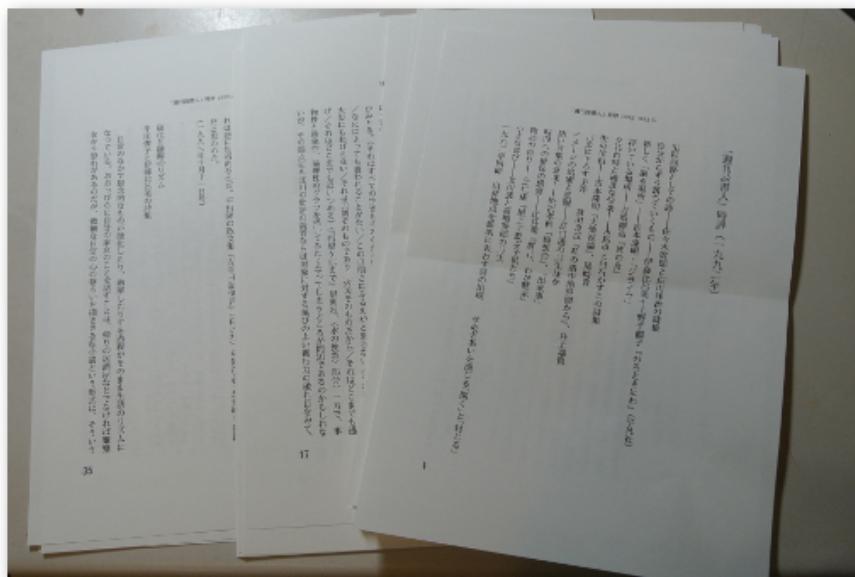
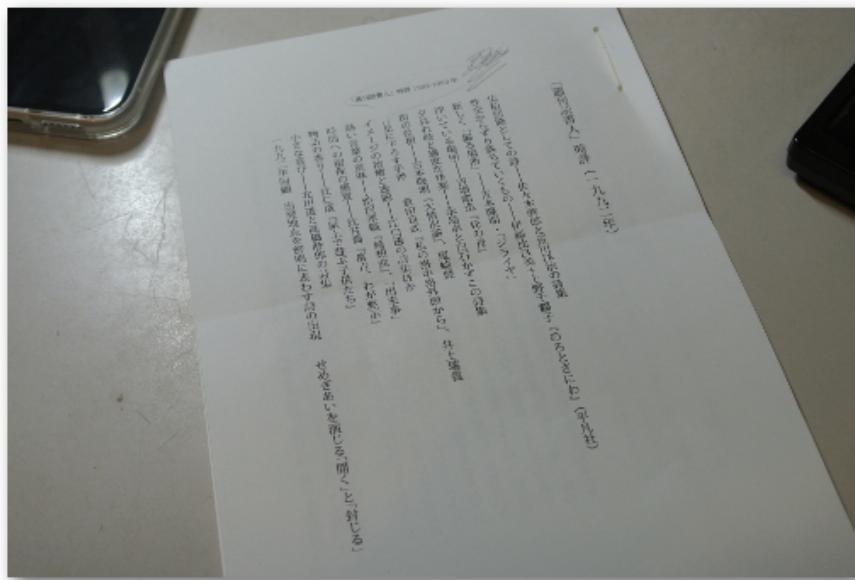
InDesignでは、3行取りの見出しを設定してみた。

問題は級数の違う2行の見出しを2行取りにすることができない。これは難度の高い技なのかもしれない。

でも、いちおう校正刷りを出力してみた。「週刊読書人」の2年分の時評だけで40ページ。「現代詩手帖」に連載した時評がその2.5倍あるとして、そこまでで130ページ。全部で300ページぐらいの本になるかもしれない。100枚ぐらいの書き下ろしを入れちゃいたい感じ。

[[InDesign]]はいい！ 禁則処理に注意しなくても適当にやってくれるところは特に気に入った。

写真はプリントアウトした校正刷り。



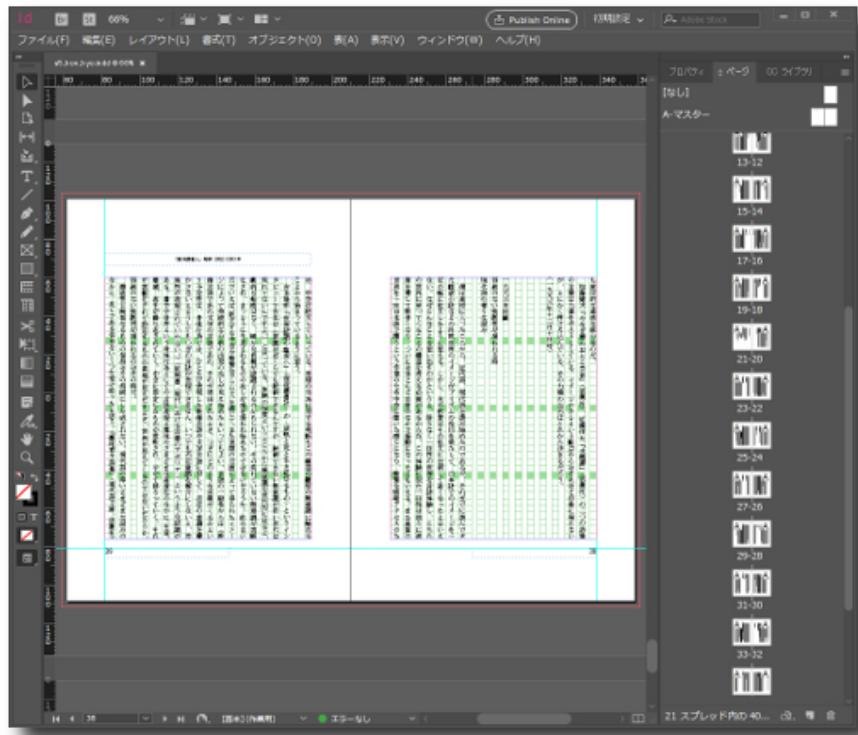
21:41:31 - belle - No comments

**2019-10-02**

### InDesign、進んできた

InDesignで本の体裁を作るのは今日は1.5時間ぐらいでいろいろわかった。  
最初に、詩の批評で過去に商業紙誌に書いたものだけを集めたものを作ろうとしている。普通の書籍の厚さぐらいになりそう。  
作業したのは、[[青空文庫]]にも出してあるが、『週刊読書人』に書いた時評の連載2年分。

けっこううまくいった！  
最初に流しこんでできるページ数からあふれた場合の処置とかわかつてき。



23:51:42 - belle - No comments

**2019-10-01**

### ギターコードダイヤグラム／InDesignの進捗

InDesignで一昨日やっつけでプリント原稿を整えることをやろうとしたが、途中でぐちゃぐちゃになってしまった。

そこで、慣れた[[LibreOffice Writer]]に戻ってプリントし終えた。

今日、仕切り直しでInDesignの「文芸書」のケーススタディを見つつ、レイアウトした。

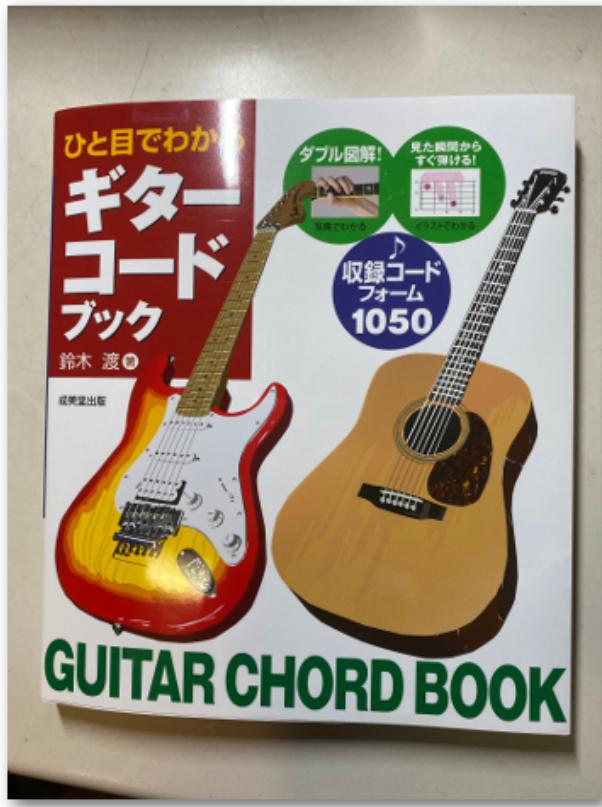
最終的には[[製本直送コム]]で1部、製本してみるためにPDF化する。

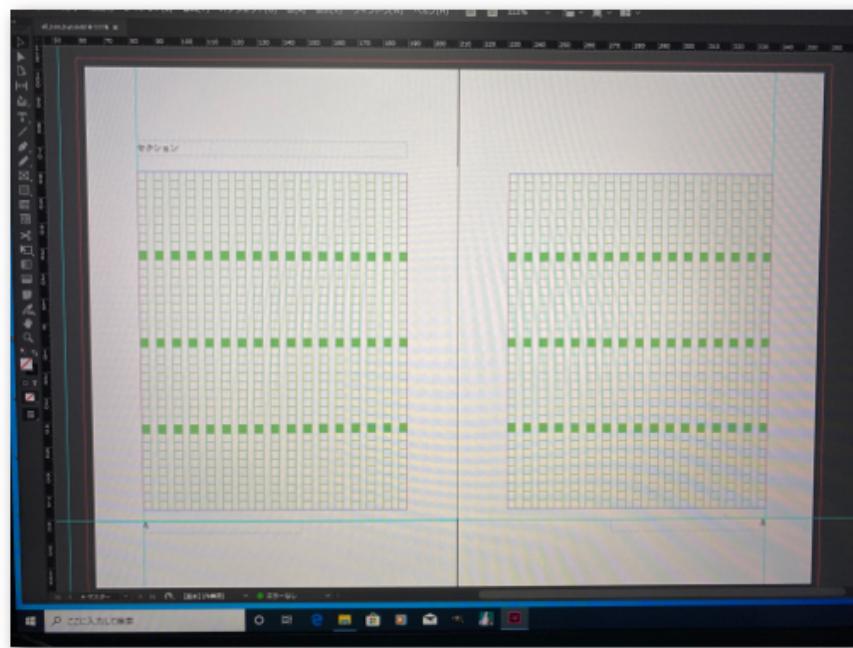
この先には、いろいろやれることがある。

またWeb用にePubに出力してみる。というようなことをやりたい。

[[ギターコードダイヤグラム]]はけっこうおもしろい。

これとYouTubeがあればいろいろ歌を歌える(^^)。





上の段階ではノンブルの位置と体裁は決定。上部の柱は左右センターにしようかな  
と思っているがまだやり方がわからない。

22:00:23 - belle - No comments